

12月に70周年大会

石川県PTA連・会長ら来社

石川県PTA連合会の紙谷一成会長が24日、新任あいさつで北國新聞社を訪れ、創立70周年を迎える連合会の活動について「時代に合った組織の在り方を議論し、改革を実行していく」と抱負を語った。12月に記念大会を開

く。

紙谷会長は、2016年度に発足した未来像検討委員会で連合会の事業の意義や成果を一つ一つ精査していると説明した。国が働き方改革を押し進める中、学校教員の勤務実態について会員の理解を促進していく考えも示した。

島屋豊、中村美幸、川本務、宇田直人、山崎綾子、丸田一幹、灰

谷貴光の副会長7氏が同行した。



抱負を語る紙谷会長（前列左端）
北國新聞社

北國新聞 2018.5.25 朝刊

「時代に合った活動したい」

本社来訪 県PTA連合会長が抱負

県PTA連合会の本年度の役員ら九人が二十四日、金沢市駅西本町の中日新聞北陸本社を訪れた。新任の紙谷一成会長は「大人自らの学びを前面に出し、時代に合った活動をしていきたい」と意気込みを語った。今年には創立七十周年を迎え、十二月に記念大会を行う。県内には二百八十二の「単位PTA」があり、役員研修会にも力を入れる。紙谷会長は「情報共有をして連携を深め、教育行政にも積極的に働き掛けていきたい」と話した。（督あかり）

◇新任の副会長の皆さん 島屋豊（加賀市）中村美幸（能美市）宇田直人（金沢市）山崎綾子（同）丸田一幹（羽咋市）灰谷貴光（能登町）山田辰也（校長会）



あいさつのために本社を訪れた紙谷一成会長（前列中央）ら県PTA連合会の新役員＝中日新聞北陸本社で

中日新聞 2018.5.25 朝刊